

光星、戦力分析に注力

創志学園と
あす初戦

第104回全国高校野球選手権（6〜22日・阪神甲子園球場）で7日に初戦を迎える八学光星は5日、甲子園での開会式リハーサル後、大阪府茨木市内のグラウンドで調整した。雨の影響で練習時間と会場が急ぎよ変更になるアクシデントはあったが、ナインは聖地の土を踏み、本番へ士気を高めた。

イルスの感染対策で開会式への参加は急ぎよ、洗平歩人主将のみとなったが、主力の佐藤航太はオンライン取材に「良い舞台で戦える」と実感した。緊張し過ぎないように試合に臨みたい」と話した。

力分析に注力したという。青森大会では不振だった佐藤は甲子園に向けて打撃フォームを修正し「内角寄りの甘めの球をしっかりと打てるようになり、県大会とは違う感覚」と手応え十分。創志学園の好投手・岡村洗太郎の攻略に向け「決め球が来る前に早いカウントでボールを捉えたい」と意気込みを語った。八学光星ナインは6日、開会式後に兵庫県西宮市内で調整し、初戦に備える。（福田駿）

④井坂泰三（二塁手、3年）

＝神奈川・横浜南中出＝



八学光星
甲子園
だより

八戸の涼しさに慣れていたので、関西入り後は少しバテ気味ですが、ホテル内

自分なりに暑さ対策

で冷房を極力つけないなど、自分なりの暑さ対策を心がけています。青森大会では気合が入り過ぎて裏目に出ていましたが、今はリラックスした状態で練習できています。コーチのマンツーマン指導でバットの軌道も修正し、良い形で試合に臨めそうです。甲子園出場校はどこも強いので、厳しい試合になると思いますが、最後に相手より一点でも多く取れるように粘り強く戦います。